

## 第2学年国語科学習指導案

日 時 平成27年10月29日(木) 5校時

対 象 2年生 男4名 女7名 計11

指導者 柏葉 秀之

1 単元名 むかし話をしようかいしよう

2 教材名 「かさこじぞう」 岩崎京子文 東京書籍2年下

3 単元について

(1) 児童について

観 点	実 態 等
学習活動の経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「お手紙」では、場面ごとに登場人物の様子や気持ちをおさえながら読み取っていくことを学習した。</li> <li>・「名前を見てちょうだい」では、それぞれの場面の人物の様子を想像し、声や動きで表す学習を行ってきた。</li> </ul>
読み取りの状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読は、スラスラ読めるようになるまで時間を要する。読み間違いも多い。</li> <li>・大事な言葉や文にサイドラインを引く際に、必要以上に引く傾向がある。</li> <li>・自分の読み取りを、他の考えを聞きながら修正したり深めたりすることが苦手な児童が多い。</li> <li>・NRT検査では、文学的な文章の主題の読み取りで、誤答や無答の人数が半数以上だった。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の学習が好きな児童は多いが、物語文の学習が好きな児童は半数程度である。</li> <li>・発言に対する意欲はあるが、問いに対する適切な話し方で話せなかったり、最後まで話すことができずに途中で諦めてしまったりする児童が多い。</li> <li>・ペア学習やグループ学習では、自分の考えを伝えることに精一杯で、相手の考えをしっかりと受け止めているという状況ではない。</li> <li>・書く活動では、自分の言葉で表現することを苦手としている児童が多いので、モデルを示しながら進めている状況である。</li> <li>・指示や発問の意味が理解できずに、常に支援を要する児童が3名いる。</li> </ul>

(2) 単元で身につけたい力

学習指導要領との関連	<p>C 読む</p> <p>(1) オ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。</p> <p>ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。</p>
本教材の特色と活用	<p>本教材は、「むかしむかし」で始まることに代表されるような、昔話独特の表現や語り口を楽しむことができる教材である。また、正月の準備が何一つできない老夫婦が、雪に埋もれた地蔵様に売りものの笠と自分の手ぬぐいをかぶせることで富がもたらされるとい内容で、昔話のおもしろさが捉えやすいので、他の昔話への興味・関心を喚起し、読書の幅を広げることのできる教材といえる。</p>

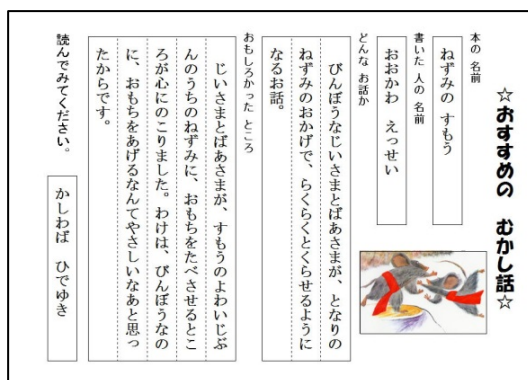
以上のことを踏まえ、本単元でつきたい力を次のように考えた。

○ 読んだ昔話のおもしろさを見つける力

なお、本単元では、昔話のおもしろさを紹介カードで伝える活動を設定する。

紹介カードに書かせる内容は、書名、作者、あらすじ、感想である。

これらは、指導事項の本や文章の内容や構成に対する児童一人一人の思いや考えを明確に書きまとめることに関連している。



(3) 指導にあたって

① 【自分の考えをもたせる読み取りのための活動について】 西地区視点 1

- ・単元の最初に紹介カードの例を提示することで、具体的なゴールをイメージさせ、学習への意欲付けを図る。
- ・中心人物の行動や会話にサイドラインを引かせる。
- ・思ったことや考えたことを吹き出し形式で書かせる。
- ・書き方や話し方のモデルを示すことで、自分の考えを表現できるようにする。

② 【伝え合う活動について】 西地区視点 2

- ・ペア学習では、互いの役割を明確にし、互いの考えのよさや違いを確認する。
- ・全体での話し合いは、出された考えを整理・分類したり、読み深めたりする。

4 単元指導計画

(1) 単元の目標と評価

単元の目標	◎いろいろな昔話を読み、おもしろいところを見つけ、紹介カードに書いて友だちに伝えることができる。		
	○いろいろな昔話を読むことに興味をもち、読んで見つけたおもしろさを紹介することに、意欲的に取り組むことができる。		
評価規準	関心・意欲・態度	読む	言語についての知識・理解
	昔話のおもしろさを見つけ、友だちに紹介しようとしている。	昔話のおもしろさを見つけ、おもしろいと感じたところをカードに書いて伝え合っている。	文の中の主語と述語の照応に注意して、人物がしたことを読み取っている。

(2) 学習計画 (全12時間)

	時	学習内容	読み取りのための活動	主な評価規準
つかむ	1	昔話の読み聞かせを聞き、その昔話の「紹介カード」を見て、学習のねらいを知り、見通しを持つ。	紹介カードに書いてあることを確かめる。	【関】昔話の読み聞かせを聞き、これからの学習に興味を持って取り組もうとしている。
	2	教材文を読み、簡単な感想を話す。	初発の感想を書く。	

わか か る	3 ・ 4	教材文を音読し、場面分けをして内容の大体をとらえる。	場面ごとに、どんな場所でだれが登場し、どんなことが起こったのかを書く。	【読】教材文を場面に分け、内容の大体をとらえている。 【言】「だれが」「どうした」に気をつけて、人物がしたことを読み取っている。
	5	じいさまの人柄を読み取る。	じいさまの人柄が表れているところにサイドラインを引く。	【読】じいさまのしたことや会話から、じいさまの優しさを読み取っている。
	6	ばあさまの人柄を読み取る。	ばあさまの人柄が表れているところにサイドラインを引く。	【読】ばあさまのしたことや会話から、ばあさまの優しさを読み取っている。
	7 本 時	地蔵様が、じいさまとばあさまにお正月に必要なものを届けたわけを考える。	地蔵様がじいさまやばあさまに伝えたいことを想像して書く。	【読】お正月に必要なものを届けた地蔵様の気持ちを想像している。
	8	「かさこじぞう」のおもしろさを見つける。	おもしろかった場面とそのわけを書く。	【読】「かさこじぞう」のおもしろさをわけを明確にして書いている。
	9	「かさこじぞう」の紹介カードを書き、おもしろさを紹介し合う。	紹介カードの構成に沿って、「かさこじぞう」の紹介カードを書く。	【読】「かさこじぞう」のおもしろさが伝わるように言葉を選んで紹介カードを書いている。
ふ か め る	10 ・ 11	紹介したい昔話を選んで、紹介カードを書く。	自分が読んだ昔話のおもしろいところを見つけ、紹介カードを書く。	【読】紹介したい昔話について、相手におもしろさが伝わるように言葉を選んで紹介カードを書いている。
	12	紹介カードを交流し、感想を伝え合う。	紹介カードへの感想や、紹介された本を読んだ感想を伝え合う。	【関】紹介された本から読みたい本を見つけて楽しんで読んでいる。

## 5 本時の指導

(1) 目標 地蔵様が、じいさまとばあさまにお正月に必要なものを届けたわけを考えることができる。

### (2) 評価規準と具体的評価規準

評価規準	評価方法	具体的評価規準	努力を要する児童への具体的な支援
じいさまとばあさまに、お正月に必要なものを届けた地蔵様の気持ちを想像している。	学習シート 発言	地蔵様は、二人の思いやりに感謝・感動して、お正月に必要なものを届けたということを自分の言葉で書き、まとめている。	モデルとなる文型と、書きまとめる際に使う大事な言葉を提示することで、自分で書き、まとめることができるようにする。

(3) 展開


階	学習内容	◇読み取りのための活動 ・期待される児童の反応	・指導上の留意点 《評価》
導入 5分	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">地蔵様は、なぜ二人にお正月に必要なものを届けたのだろう。</p> <p>2 学習の見通しを立てる。</p>		<p>・本時までで学習したじいさまとばあさまの人柄を確認する。</p> <p>・地蔵様が二人に何か言ってあげるとしたら、どんなことを言うかを考えながら課題を解決していくことを確認する。</p>
展開 35分	<p>3 P74L1～P80L13 を音読する。</p> <p>4 地蔵様が二人にどんなことを言うか考える。</p> <p>5 地蔵様が二人にお正月に必要なものを届けたわけを考える。</p>	<p>◇地蔵様がしてもらったことを確かめる。《全体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・笠をかぶせてもらった。</li> <li>・手ぬぐいをかぶせてもらった。</li> <li>・寒さから守ってもらった。</li> </ul> <p>◇地蔵様が二人に言うことを考える。《一人学び→ペア学習→全体》</p> <p>&lt;じいさまへ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・笠や手ぬぐいをかぶせてくれて、ありがとう。</li> <li>・寒さから守ってくれて、ありがとう。</li> </ul> <p>&lt;ばあさまへ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・じいさまに優しくしてくれて、ありがとう。</li> <li>・笠をかぶせたじいさまのことを分かってくれて、ありがとう。</li> </ul> <p>◇二人に共通していることを考える。《全体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰にでも優しくする心がある。</li> <li>・自分よりも相手を思いやる心がある。</li> </ul> <p>◇地蔵様が二人にお正月に必要なものを届けたわけを自分の言葉で書きまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地蔵様は、誰にでも優しくする心をもった二人にお礼をするために贈り物を届けた。</li> <li>・じいさまとばあさまには、自分よ</li> </ul>	<p>・地蔵様が二人にしてもらったことに注意して音読させる。</p> <p>・ばあさまはじいさまのしたこと共感しているので、じいさまと同様であることを押さえる。</p> <p>・地蔵様が言うことを吹き出し形式で書かせることで、地蔵様の気持ちを想像させる。</p> <p>・二人には、どんな心があるかを考えさせることで共通点を見出せるようにする。</p> <p>《評価》地蔵様は、二人の思いやりに感謝・感動して、お正月に必要なものを届けたということを自分の言葉で書きまとめることができたか。(学習シート)</p>

		りも相手のことを思いやる心があったので贈り物を届けた。	
終末	6	学習の振り返りをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人学び、ペア学習、伝え合い、まとめについて振り返らせる。</li> <li>・次時は、「かさこじぞう」のおもしろさを見つける学習をすることを知らせる。</li> </ul>
5分	7	次時の学習内容を知る。	

(4) 板書計画

まとめ

じいさまとばあさまには、自分よりも相手のことを思いやる心があったので贈り物を届けた。



かさこじぞう

かだい  
(じぞうさまは、なぜ二人にお正月にひつようなものをとどけたのだろう。)

〈じぞうさま〉

- ・かさをかぶせてもらった。
- ・手ぬぐいをかぶせてもらった。
- ・さむさからまもってもらった。

〈ばあさま〉

- ・じいさまにやさしくしてくれて、ありがとう。
- ・笠をかぶせたじいさまのことを分かってくれて、ありがとう。

〈じいさま〉

- ・笠や手ぬぐいをかぶせてくれて、ありがとう。
- ・寒さから守ってくれて、ありがとう。

○やさしい心

○思いやりの心